

産科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「北海道の妊婦におけるhuman T-lymphotropic virus type 1 (HTLV-1)キャリアの調査」

[研究機関] 北海道大学病院産科

[研究責任者] 水上 尚典（医学研究科産科生殖医学分野・教授）

[研究の目的]

ヒトTリンパ好性ウイルス Human T-lymphotropic virus type 1 (HTLV-1)の母子感染は周産期管理上の大きな問題であります。今後、北海道内での母子感染を防止するために、2011年に北海道HTLV-1母子感染対策協議会（北海道主導）が設置され、全道調査を実施しました（当院を含みます）。

そこで集積されたデータは極めて学術的価値が高く、母子感染防止対策に寄与すると考えられたので、論文化することが協議会で決定されました。

そこで今回私たちはこのデータを用いて北海道の妊婦さんにおける HTLV-1 感染の実態を調査検討する事を目的としました。

[研究の方法]

●対象となる方と調査項目

2012年に北海道において分娩された全妊婦さんのデータを HTLV-1 母子感染対策協議会が分娩取り扱い施設に問い合わせ（調査自体は 2013 年に行いました）、回答があった全例です。調査項目は検査を実施した産科施設がある市町村、それら市町村での HTLV-1 抗体スクリーニング実施妊婦人数とその結果、それら市町村での HTLV-1 キャリア状態診断確認検査実施人数とその結果です。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報には、患者さんを直接同定できる個人情報は含まれていません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は含まれません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院産科 担当医師 山田 崇弘

電話 011-706-5941 FAX 011-706-7711